

《担当者名》呉 秀娟（非）neimengxiujuan@yahoo.co.jp

【概要】

初級中国語を学習した学生を対象とする。正確な発音を心掛けつつ、基本的な文法項目および語彙を学びながら実践的な表現力の習得を目指すとともに、日常会話のみならず、バイト先や卒業後の仕事先などで使用する表現の学習を通して、基本的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、語学的指導以外に、中国の伝統的な文化、習慣や現代中国における社会事情についても、日本と比較しながら紹介してゆく。

【学修目標】

- ・中国語の基礎的な文法を把握することを目標とする。
- ・基本的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イントロダクション	発音の復習	呉
2	中華街に行く のA	日付と曜日の言い方 / 助動詞(1)	呉
3	中華街に行く のB	動詞の重ね型 / 前置詞(1)	呉
4	中華街に行く のA	年、月、日の言い方	呉
5	中華街に行く のB	時刻の言い方	呉
6	中華街に行く のA	お金の言い方 / 数量補語	呉
7	中華街に行く のB	100以上の数 / アール化音	呉
8	合宿	動詞“在” / 助動詞(2) / 前置詞(2)	呉
9	合宿 のA	前置詞(3) / 助動詞(3)	呉
10	合宿 のB	二重目的語	呉
11	合宿 のA	助動詞(4) / 禁止を表す“別”と“不要”	呉
12	合宿 のB	連動文	呉
13	合宿 のA	助動詞(5)	呉
14	合宿 のB	比較の言い方	呉
15	まとめ	半年間の総復習	呉

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験60%、平常点（授業への取り組み・小テストの成績や課題の取り組みなど）40%

【教科書】

董燕・遠藤光暁著『ともだち・朋友 スリム版1』（朝日出版社、2010年） 初級と同じ

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介・説明する。

【備考】

基本的に教科書に沿って進むが、適宜プリントも配布する。

中国の伝統文化や現代中国事情についても、DVDを使用しながら適宜紹介する。

【学修の準備】

各回授業外学修時間は変わるが、平均すると各回40分程度の予習・復習が必要である。授業で習った単語・表現は、教科書付属のDVDとCDを活用しながら復習すること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5,4